



令和6年8月5日  
海上保安庁

## 日本・米国・フィリピンによる洋上交流プログラムの実施について

### ～日米比首脳による共同ビジョンステートメントに基づく取組み～

令和6年7月22日(月)から8月3日(土)の間、米国沿岸警備隊(USCG)の巡視船に海上保安庁職員とフィリピン沿岸警備隊(PCG)職員が乗り、様々な交流プログラムを実施しました。本取組は、令和6年4月に発表された日米比首脳による共同ビジョンステートメントに基づくものであり、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向け、日米比海上保安機関間の協力関係の深化につながりました。

#### 1 実施期間(現地時間)

令和6年7月22日(月)から8月3日(土)

#### 2 実施場所

USCG 巡視船「WAESCHE」船上  
(準州グアムからハワイ州ホノルルの間)



米国沿岸警備隊巡視船「WAESCHE」  
出典：USCG 提供

#### 3 当庁参加者

- (1)海上保安庁 警備救難部管理課 溜 宏三郎(一等海上保安正)
- (2)海上保安庁 総務部国際戦略官付 綱脇 一総(三等海上保安正)

※当庁職員以外にも PCG 職員2名が参加

#### 4 実施事項

- (1)USCG 巡視船「WAESCHE」乗組員が実施する業務・訓練等への参加・見学
- (2)USCG 及び PCG 職員に対する当庁業務説明

#### 5 結果概要

当庁職員と PCG 職員は USCG 巡視船「WAESCHE」に乗船し、7月22日から8月3日のグアムからホノルルまでの間、USCG 巡視船「WAESCHE」が行う各種業務や訓練に参加・見

学びました。

- (1)乗船中の様々な交流を通じて、三機関間の相互理解及び信頼醸成が促進されました。
- (2)また、ホノルルにある「パールハーバー・ヒッカム統合基地」入港にあわせて当庁職員及びPCG職員の下船式を行っております。
- (3)海上保安庁は、今後も、法の支配に基づく「自由で開かれたインド太平洋(FOIP)」の実現に向け、各国の海上保安機関との連携・協力関係を強化していきます。

## 6 交流プログラムの様子



訓練事前ミーティング



訓練見学



下船式



下船式集合写真  
(USCG、PCG 及び JCG)